



なのはな通信

26年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No.8

平成26年7月16日

夏休みに期待する」と

「家族のふれあいと自然体験」

校庭でクマゼミが鳴き始めました。一学期も終わり、四十四日間の夏休みが始まります。海水浴やキャンプ、プールなど、家族旅行や様々な体験をさせようと計画を立ててみえる家庭もあるのではないのでしょうか。お盆の里帰りや海外旅行、U S J、TDLなどに行くという家庭も。また、家の事情で、どこにも行けないという人もあるかもしれません。それでも、充実した夏休みにすることが、子どもの成長にとっての糧になることは言うまでもありません。時間は無限でも永遠ではありません。人も成長するためには、運動や勉強、人とのコミュニケーションや普段見られない文化に触れることが大切です。「可愛い子には旅をさせよ」とも言われますが、自立する力を備えさせるためにも、ぜひ、計画を立ててみてください。子育てが一段落すると、「あの時、もう少し家族で遊んでおけばよかった。」という後悔が生じてきます。

矢作川の堤防上から見た六ツ美中部学区の広大な田畑や家並みは、「豊かさ」そのもの。ふるさとの自然と人々の営みが永永と受け継がれていくことを祈りながら、無事に夏休みを過して欲しいと願います。



大正四年十一月二五日
高松宮殿下の御視察
六ツ美村立農業補習学校
(今から99年前)



高松宮殿下御視察記念



太田功平教頭と菜種油

「岡崎市制施行98周年記念式」に参加して

平成二十六年七月一日(火)

「岡崎のため」

六年 夏目 みのり

「名誉市民 柴田紘一様」表彰式が始まりました。その表彰は、岡崎市のために力を尽くしたり、多額の寄附をした人や「オカザえもん」のアイデアを考えたりした人たちが表彰されました。

ところで、私が代表として行った行事は、「市制記念日」と言って、岡崎市が大正五年に県下3番目、全国67番目にできた日をお祝いするものです。市民会館には、岡崎市全体の小中学校の代表の人や議員さんたちや表彰される人が来ていました。

パンフレットには、二〇一三年四月から今年の四月までの出来事や岡崎の歴史について書かれています。私が知らなかった人々の岡崎への気持ちをこめてのいろんな行いがありました。私は、その気持ちがあつて協力し合った人たちに感謝の気持ちをこめての表彰式だと知りました。

十年後、二十年後は、私達は大人になり、りっぱな社会人になっています。その時には、岡崎のためにいろいろな事をお年寄り達にやってもらおうのではなく、自分達で岡崎の歩みを創っていききたいです。

